

正誤表
「基礎生物学テキストシリーズ 遺伝学」第1刷

頁	位置	誤	正
3	注3 1行	細胞を宿主とする	細菌を宿主とする
13	6-7行	芳香性(W, F, H)	芳香性(W, F, Y)
13	図1.11グルタミンー番下	C-O	C=O
13	図1.11トレオニンー番下	CH	OH
17	2-3行	RNAポリメラーゼⅡ	RNAポリメラーゼⅢ
20	問題3 右から3番目の三連音符	GUG	GTG
25	注6 3行	注8参照	1章注7参照
27	上から18行-20行	実は、メンデルは…座乗していたのである*8.	実は、メンデルは異なる形質を支配する複数の遺伝子が同一染色体上に存在する現象(連鎖, 3.2.1項参照)を記載していないが、メンデルの二因子交配には、連鎖関係にある遺伝子の組合せが含まれていない*8.
27	注8	この確率は…偶然にも恵まれたのである.	エンドウマメは七つの染色体をもつが、信頼できると考えられる報告によれば[T. H. N. Elli, S. J. Poyser, <i>New Phytologist</i> , 153 , 17 (2002)], メンデルが調査した七つの形質は、第I, II, III, IV, Vという五つの染色体上の対立遺伝子で支配される. すなわち, V/v と Le/le は第III染色体上に, R/r と Gp/gp は第V染色体上に存在する. とくに, メンデルの二因子交配に含まれていない第III染色体上の V/v と Le/le は長腕上で近接した位置に存在する. もしメンデルがこの交配を行っていたら、これら2遺伝子の組合せでは独立分離が認められなかったはずで、おそらく彼は連鎖に気づいたであろう.
29	10行	複対立遺伝子の代表である	複対立遺伝子が関与する代表例である
30-31	下から1行-上から1行	雄はX染色体について…である.	雌はX染色体を2本もち(XX), 雄はX染色体とともにY染色体をもつ.
37	図3.5	w 1.3 v 3.07	w 0.7 v 30.7
42	図3.9	m	y
42	図3.9説明文3行	Y染色体(m で示す)	Y染色体(y で示す)
43	問題6	遺伝子間の交叉率(組換え率)は…最大で50%である.	連鎖した遺伝子間の交叉率(組換え率)は、独立な(別の染色体上の)遺伝子の組合せ頻度である50%を超えることがない.
44	問題9表	子嚢胞子の数	子嚢の数
57	図4.11説明文3行	アミノ酸(トリプトファン, ウラシル)	トリプトファンおよびピリミジンリボヌクレオチド
62	下から3行	重複および欠失がない	重複および欠失がある
67	表5.1表下説明文 下から1行	五価染色体を表している.	五価染色体を, tはテロ染色体を表している.
76	6行	対合直後に	接合直後に

頁	位置	誤	正
77	下から10行-8行	8分後に…最大値に達した.	9分後には, スレオニンとロイシンに対する栄養素要求生を失いストレプトマイシン耐性となった細胞中からアジド感受性細胞が出現し, その割合は時間とともに増加して一定の最大値に達した.
86	問題14 3行	遺伝子の並びを決めなさい.	遺伝子の並びを決めなさい(数字はコロニー数を表す).
94	下から5-4行	DNAポリメラーゼⅢによって合成が行われた後	DNAポリメラーゼⅢによってDNA合成が行われた後に
96	4-5行	可視光線よりも波長が短く(220-340nm)	可視光線(約360-830nm)よりも波長が短く
96	6行	紫外線	紫外線(約10-360nm)
96	6-7行	X線(< 0.1-1nm)	X線(< 0.1-10nm)
96	下から7行	300-600nmの可視光のもとで	可視光のもとで
100	図7.14説明文3-4行	ある化学物質を含む.	大きな赤丸で示した濾紙にある化学物質を含む.
103	図7.17	(b)異常分離	(b)観察した分離型とそれぞれの子嚢数
103	図7.17説明文 最後に追加		(b)では基点側配列と末端側配列を区別していない. I, II以外の五つの配列は異常分離を示す.
113	2-3行	変化(transition)	転位(transition)
113	4行	変化(transversion)	転換(transversion)
116	コラム左段 下から9行	サプレッサー	リプレッサー
116	コラム右段 上から4行	ガラクトース類自体	ガラクトース類似体
119	表9.1 4. の5行目(最後)		(削除)
124	図9.7説明文 最後に追加		t, t' は二つの転写停止配列.
138	下から8行	転写活性化因子(…)の	転写の開始には転写活性化因子(…)の
148	下から2行	11.6.1項で学ぶ	12.9項参照
175	12行	次節で解説する. 細胞質遺伝が	次節で解説する細胞質遺伝が
185	1行	特定機能を阻害した	特定機能が阻害された, または阻害した
189	コラム右段 下から5行	729.1	739.1
190	式(14.3)右辺第2項	$p^2rs AABb$	$2p^2rs AABb$
190	式(14.3)右辺第6項	$2prs^2 Aabb$	$2pqs^2 Aabb$
205	表15.1 計	76 1292 … 1630	1368 76 … 1706
214	下から4行	油脂含量	油脂成分
215	7行	生命を	生命現象を